

CELLBOX T40/CG

(解体可能型IP68防水分岐ボックス)

作業手順書

426354/0321/1/4_ver.1

- ・ 本製品にはWAGO社のワンタッチコネクタWFR-3が接続材として梱包されています
初めてご使用される場合には、必ずWAGO社の資料を読んで理解の上作業ください
- ・ 本製品にはセルパック社の2液混合注入型レジンを用いています。
初めて作業をされる場合には、5ページの説明を読んで理解の上作業ください
- ・ 施工にあたっては本書を一読の上作業を行ってください
- ・ 平型ケーブルを使用する場合には、マスチック及びシーリングテープをご準備下さい

BBC CELLPACK GmbH
Electrical Products
D-79761 Waldshut-Tiengen
Tel. +49(0)7741/60 07 11
Fax +49(0)7741/60 07 83
www.cellpack.com
e-mail: electrical.products@cellpack.com

BBC CELLPACK AG
Electrical Products
CH-5612 Villmergen
Tel. +41(0)56/618 12 34
Fax +41(0)56/618 12 45

/// BBC
CELLPACK

Electrical Products

作業前の注意事項(一般事項)

- 使用するケーブル電圧及びサイズが製品とあっているか確認ください
- パッキングリスト（下表）に記載されている部品が入っていることを確認ください
- 施工手順書を一通り読んでから施工してください

本施工はその国や地域の適切な資格を有した作業者により行われることを前提とし、間違った施工による事故やその他損害に、弊社は一切の責任を負いません

パッキングリスト（部品明細）

Cellbox T40/CG

No.	品名	数量
1	樹脂製ボックス T-40	1
2	ネジ保護キャップ（ボックス内）	2
3	WAGO WFR-3（3線用）	5
4	CGレジソ275ml（パック入）	1
5	レジソ注入用樹脂ノズル	1
6	サンドペーパー	1
7	説明書	1

作業前の注意事項(使用電線の適合確認)

本製品に付属しているコネクタは、WAGOのワンタッチコネクタWFRです。日本国内においてWAGO社製品カタログでは、適用規格ごとに導体種類、適用サイズを定めております。下表はそれに基づいた適用電線を表しています。用途に適した電圧、許容電流、電線サイズを使用ください。適用外の電圧及び電流、電線サイズを使用されることは禁じられております。

T-40に付属しているコネクタ

WAGOコネクタ	適用規格	導体種類	適用サイズ
WFR(4mm ² 対応品)	電気用品適合	単線	φ1.6, φ2mm
	JIS適合 IEC適合	単線	φ0.5~φ2.0mm
		IV7本撚り線	0.2~3.5mm ²
		可とう撚り線	0.14~4.0mm ²
	最大外径		φ4.0mm
	定格	電気用品適合	20A、300V
		JIS適合 IEC適合	32A、450V
		UL適合	20A、600V

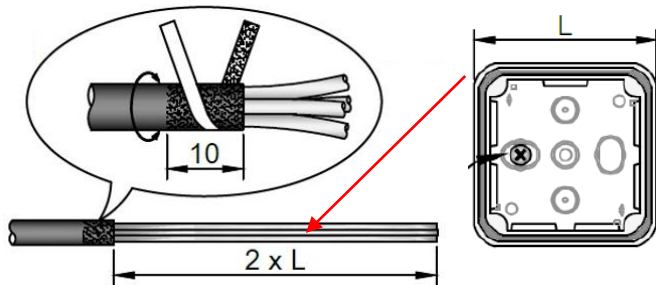
※注意：本製品は外径20mm以上の外径ケーブルは、貫通部に適合しません。

作業前の注意事項(作業温度の確認)

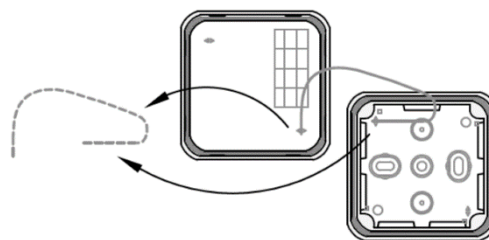
本製品に付属しているレジソは、作業環境が5℃以下では硬化しません。5℃未満の場合には、レジソのアルミパックを20℃くらいに温めてから混合攪拌作業を行い、ボックスへと注入するようにしてください

作業手順書

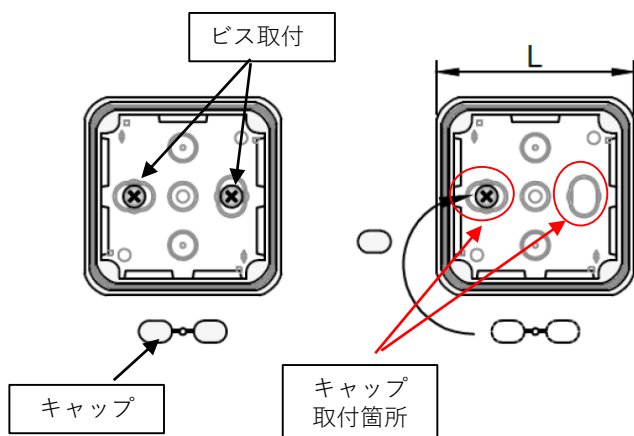
1. ケーブルシースをボックスの幅の2倍はぎ取り、端部から10mmをに粗らして清掃する



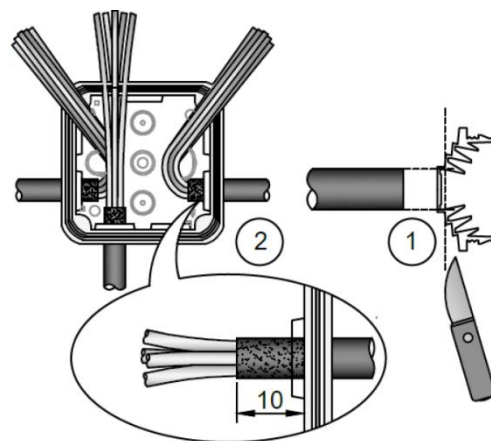
2. ボックス蓋を開け、本体と蓋を繋げるプラスチックの線を取り外す



3. ボックス底部のリブのついた2か所の位置に適切なビスを用い壁及び床に固定、キャップで蓋をする



4. 貫通口とケーブル外径を確認し、必要に応じて切込みの入った部分を切り取る、もしくは薄い膜の部分に、シースより小さく切込みを入れる。その後ケーブルを挿入し、ボックス内部にサンドペーパーで粗した10mmが収まるように調整する
詳しい説明は5ページを参照ください



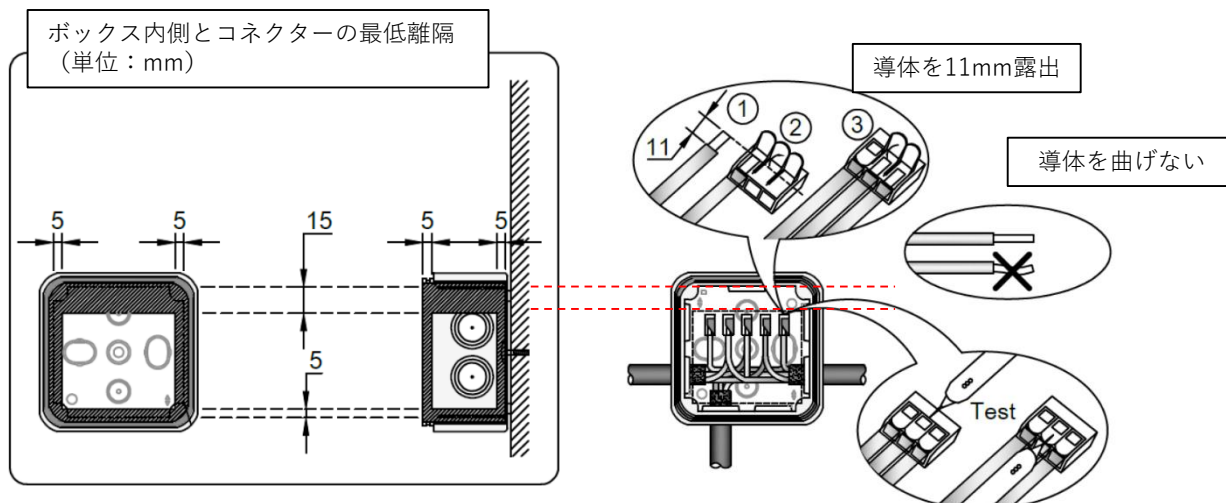
※注意：キャップは必ず最後まで押して取付けること
(レジン注入時背面から液漏れ防止)

※注意：ケーブル外径よりも貫通穴を大きくしない。
必ずケーブルが膜に押されるくらいにする。
上記が出来なかった場合や平型ケーブルを使用する場合にはレジン注入工程前までにシーリングテープなどで隙間をふさぐこと

壁面取付けの場合

床面取付けは工程 6 へ

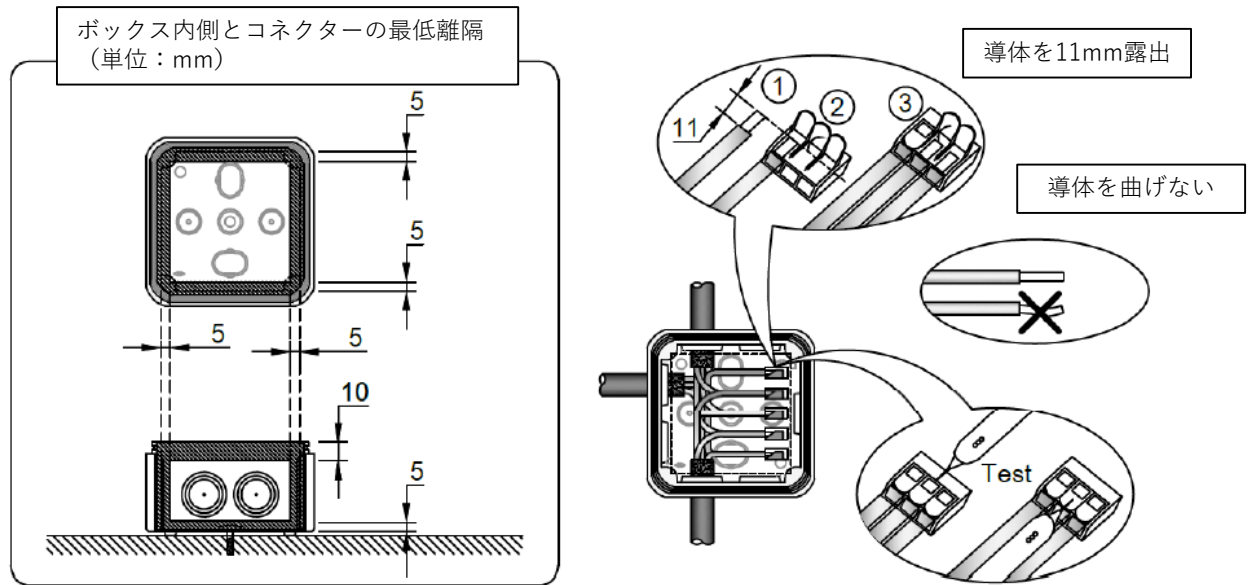
5. ケーブルを適切な長さに切断し、導体を11mm露出させ、ワンタッチコネクタのレバーを上げる。導体を奥まで差込み、レバーを締める。導体が奥まで入っているかを裏の透明部から確認し、不十分であればやりなおす。その後コネクタを図のようにボックス内壁から離すように配置をする。コネクタの導通確認を行うこと



※注意：コネクタとボックス内壁の離隔は必ず最小離隔以上確保すること

床面取付けの場合

6. ケーブルを適切な長さに切断し、導体を11mm露出させ、ワンタッチコネクターのレバーを上げる。導体を奥まで差込み、レバーを締める。導体が奥まで入っているかを裏の透明部から確認し、不十分であればやりなおす。その後コネク터를図のようにボックス内壁から離すように配置をすること。ケーブルを軽く引張り抜けないこと、コネクターの導通確認を行い、正しい接続を確認すること。

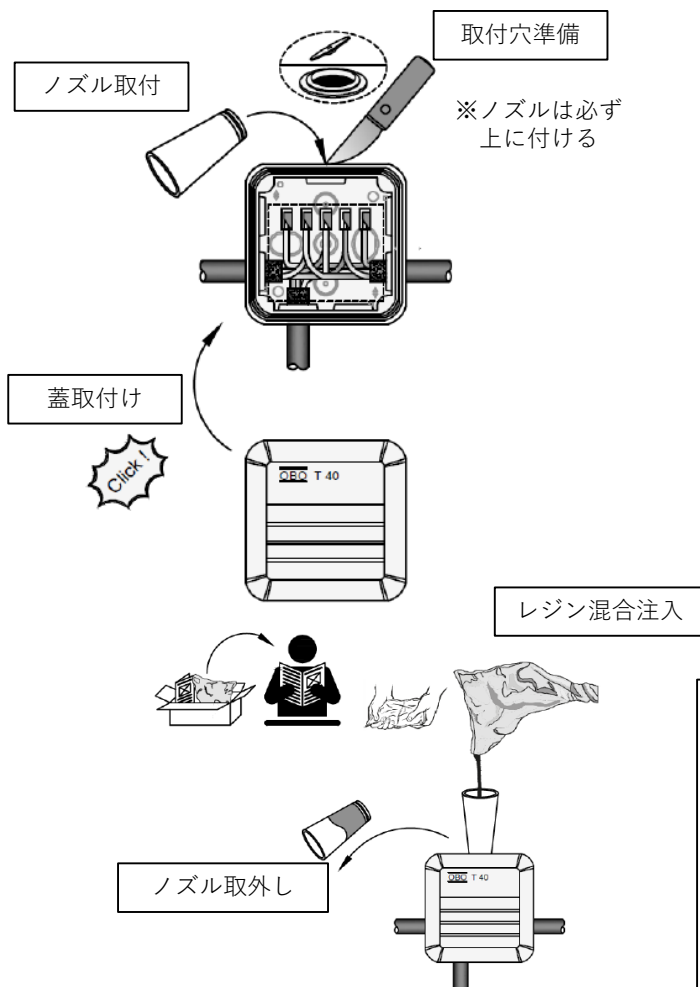


※注意：コネクターとボックス内壁の離隔は必ず最小離隔以上確保すること

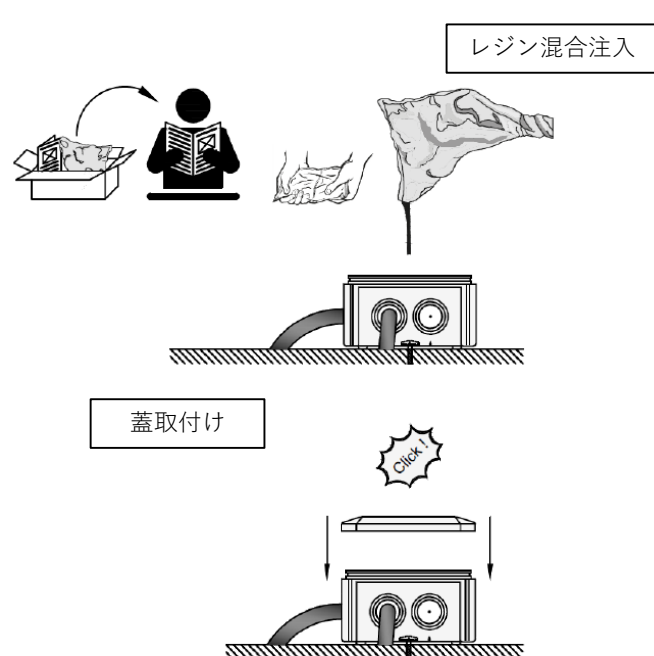
7. レジンのアルミパックから黒いセパレーターを取り外し、両側の液がよく混ざるように手でパックを揉みながら3分間混合する。レジンの注入は以下の壁取付けと床面取付けを参照すること

レジン混合に関する詳しい説明は5ページを参照すること

壁面取付けレジン注入



床面取付けレジン注入



※注意

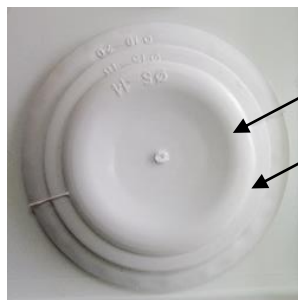
- ・レジン注入時に貫通部から液が漏れた場合、漏れ部にテープやパテをで漏れを止めること
硬化後は取除いて良い
- ・5°C以下ではレジン硬化しないので、レジンパックを温めて混合し注入すること
- ・上まで充填したら注入をやめること
- ・施工後レジンを解体した場合、再使用しないこと
- ・ボックスからあふれないよう注意すること

補足事項:ボックスへのケーブル貫通に関する説明

- ・ボックスへのケーブル貫通時の加工は以下の通りに行ってください

シース外径別の貫通部加工

外径/mm	貫通部加工
5～14	ケーブルをグロメット部中心に直接押し込む、困難な場合小さく切れ目を入れる
15～18	一段目を切り取り、ケーブルを押し込む（φ15～18記載ブッシング使用）
19～20	二段目を切り取り、ケーブルを押し込む（φ19～20記載ブッシング使用）



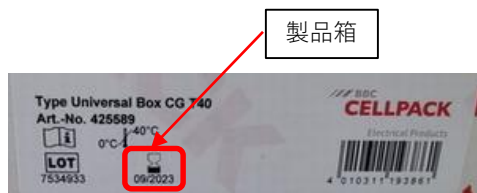
一段目のブッシング

二段目のブッシング

- ※ケーブルのシースは挿入前に剥ぎ取ること
- ※外径が14mmまでのケーブルはブッシング切り取りは不要
- ※切り取りは横からカッターなど溝に沿ってきれいに切る
- ※ブッシングがケーブルを隙間なく密着していることを確認する
- ※隙間があるとレジン注入時に漏れます

補足事項:レジンの使用期限、混合注入に関する説明

- ・レジンの使用期限を厳守し、期限切れの製品は使用しないこと
期限は製品箱とレジン収納袋に記載があります。（例）09/2023 使用期限⇒2023年9月



製品箱



レジン袋

- ・レジンを広げると中にイラストの説明書が入っています。以下と併せて手順を順守してください

レジンに同梱している説明書



1. 5°C未満の場合、レジンを20°C程度まで温めてから作業を開始する（5°C未満ではレジンが硬化しない）
2. レジンのセパレーター黒い丸棒とレールを外す
3. パックをよく揉み袋を上下にしながら3分間混合する（強くねじりすぎると袋が破けるので注意する）
4. 下の方へとレジンをしごきながら集める
5. 片側を軽く絞る
6. 絞った方を持ち、逆側を上にして端部を切る
7. 切った方をゆっくりと傾け、レジンを注入する

※注意事項

- 手や目にレジンが付かないよう、手袋保護具を装着する
- レジンがこぼれて周囲を汚さないように養生する

CGレジン温度別可使時間の目安

温度	可使時間
5°C	24分
23°C	21分
35°C	16分